

電話とネットだけでなく、対面での予約支援窓口が絶対必要！！

新型コロナ

ワクチン予約、経済対策で市議団が申し入れ

5月27日、共産党市議団は市に
対し、左側に掲げたコロナ対策の
緊急の申し入れを行いました。

市への問い合わせ1日211件

申し入れの中心は、5月31日か
ら始まるワクチン接種の予約（当
面80歳以上）についてです。

80歳以上の家庭に、予約の仕方
を示した封書が届き始めました
が、市役所のの

健康推進課には、
問い合わせが殺
到。担当課だけ

で一日211件、
コールセンターにも相当数の相談
が行っています。



「予約の電話がつながりにくい
ことはないのか」「スマホもパソ
コンも使えない」と不安はつきま
せん。



伴副市長に要望書の内容を説明する
村上かずしげ議員団長

ボランティアで予約支援？

市は、企業や団体にネット予約
のボランティアをお願いすると
言っていますが、参加企業は6社
のみ、生命保険会社などが自分
の顧客の支援をする程度のもので
す。ほとんどの方は頼ることもで
きません。



子や孫にネットで予約してもら
うという人もいます。自分では
予約できないという人は共産党
に相談してください。

市の責任で予約支援窓口を
村上議員は、「対面で予約を支
援する窓口をつくらないと混乱
は避けられない」と強調すると、
副市長は対面窓口をつくれればそ
こで「密」が起きると否定的です。
でも、苦情が殺到する先はど
うしても市役所の窓口になりま
す。村上議員は、「根室市では電
話がつながりにくいことがわか
ると、すぐに対面の緊急予約窓
口を設置、市民にとっても喜ばれ
ました。釧路市でもこうした対
応が必要です」と求めました。

電話 22-6121

釧路市長 蝦名大也 様

令和3年5月27日
日本共産党議員団
団長 村上和繁

新型コロナウイルス感染拡大に関する要望書

政府は、北海道についても緊急事態宣言を発出し、感染再拡大の危険な状態が続いています。特にここ数日は、東京都よりも北海道の方が感染者が多い日があるなど、道内では深刻な状況になっています。また、感染者は高齢者のみならず幅広い年齢層に広がり、死者数の増加が続いています。さらに感染力の強い変異株の流行も重大な懸念要素です。ワクチンはコロナ収束に向けた有力な手段ですが、なかなか順調に進んでいません。本市でも5月31日よりようやくワクチン接種の予約受付が開始されますが、他市の状況を見ても混乱することが予想されます。そこでワクチン接種が目前となった今、第4波を1日も早く収束させるために、以下の事項を緊急に要望いたします。

記

[経済対策]

1. 飲食店のみならず、感染の長期化に伴い事業継続が危うい全ての業種の事業者に対する経営支援を強化すること。
2. 持続化給付金や家賃支援給付金の再実施、それに6月30日まで延長した雇用調整助成金の特例措置を更に延長するよう国に要請すること。

[ワクチン接種]

1. ワクチン接種の混乱を回避するために、コールセンターの回線を増やすこと。
2. web予約が不慣れな高齢者支援を強化するために、対面で相談しながら操作をサポートするなどスムーズな接種が可能となる措置をとること。
3. 第1グループ80歳以上の受付状況によっては、第2グループの予約受付の際はあらかじめ市が接種日時を指定して案内し、日時の変更希望がない人は予約自体不要にするなど高齢者に負担のない施策を進めること。
4. ワクチン接種会場までタクシーを利用した高齢者には、タクシー代を補助すること。

村上かずしげ通信

2021.6.6
共産党市議団
22-6121

